

1 (ウ)

抵抗の大きさが分からない

$0.4 \times 30 = 12V$

$8 \div 0.4 = 20\Omega$

$8 + 12 = 20V$

$20V \div 100\Omega = 0.2A$

答 200mA

- 2 (ア) ○ [結果] 石灰水が白くにごった ⇒ 二酸化炭素が発生
 ○ [結果] 塩化コバルト紙が青色から赤色に変化 ⇒ 水

答 1 気体は二酸化炭素である。液体は水である。

(イ) 沈む ⇒ すなわち、密度が大きくなり、粒子の間隔が小さくなった

答 3

(ウ)

図のときの+極と-極の反応を説明せよ。

	+極	-極
2	水溶液中の水素イオンが電子を受け取り、水素分子となって発生する。	亜鉛板の亜鉛原子が電子を放出し、陽イオンとなって水溶液中に溶け出す。

答 2

図1 塩酸HCl

図2 +の電気を帯びる水素イオン

図3 水素イオン

図4 水素分子

溶け出す法が一極になる